

令和4年11月21日  
第1回 デジタル交通サービス  
導入推進協議会

# 実証実験候補地 明日香村 - 自動運転バス

明日香村 総合政策課

# 村の位置・沿革

奈良盆地の南東部、大阪から約40km、奈良市から約25kmの圏内。

鉄道で、京都駅・大阪駅から約1時間。

明日香村とその周辺は、飛鳥時代と呼ばれる6世紀末から7世紀にかけての約100年間、一時期を除いて都が営まれ、天皇という称号や日本という国号が初めて用いられ、律令が初めて制定されるなど、日本の古代国家体制が形成された地域であるとともに仏教その他大陸文化の影響を受けながら飛鳥文化が開花した場所。

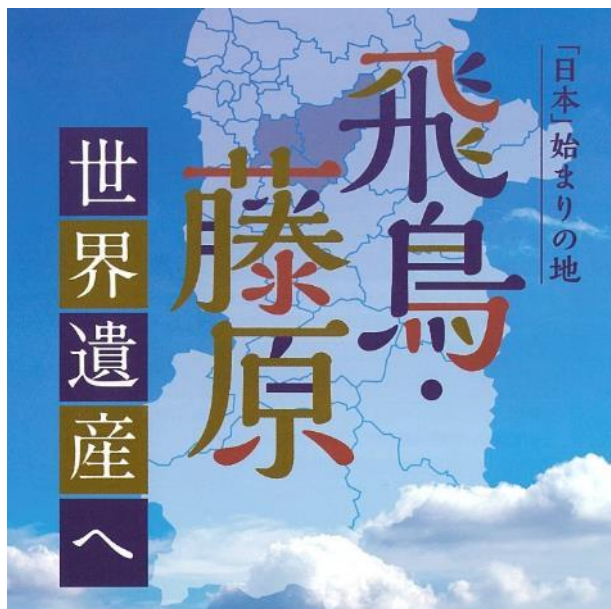


明日香村南東部から北西部を望む



# 観 光

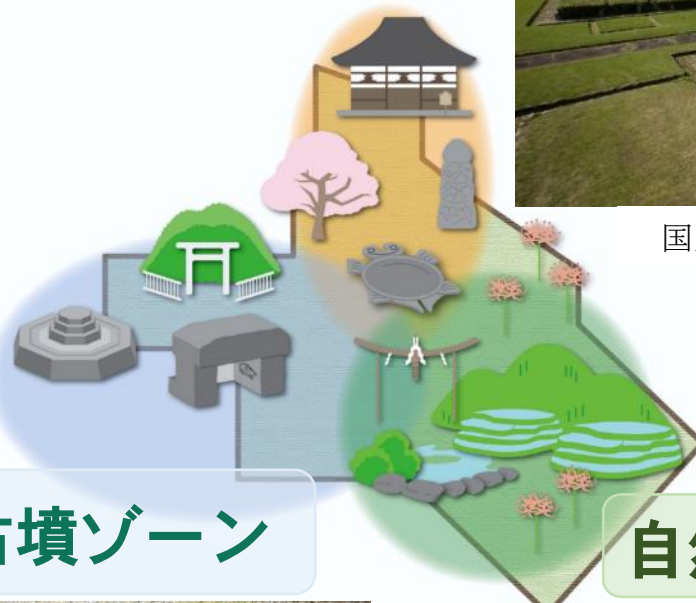
明日香村は、歴史文化資源や自然的環境から3つのゾーンに分けることができ、明日香村全体をフィールドミュージアムと捉え、屋根のない博物館（明日香まるごと博物館）づくりを目指している。



## 歴史ゾーン



国史跡 飛鳥宮跡



## 古墳ゾーン



国宝 高松塚古墳壁画

## 自然ゾーン



重要文化的景観 稲渕棚田

# 公共交通の課題

■ 明日香村は、橿原市・桜井市とともに、「飛鳥・藤原」世界遺産登録を目指しているが、構成資産へのアクセスが十分でない。村南部にも観光名所が存在するが、路線がない状況。

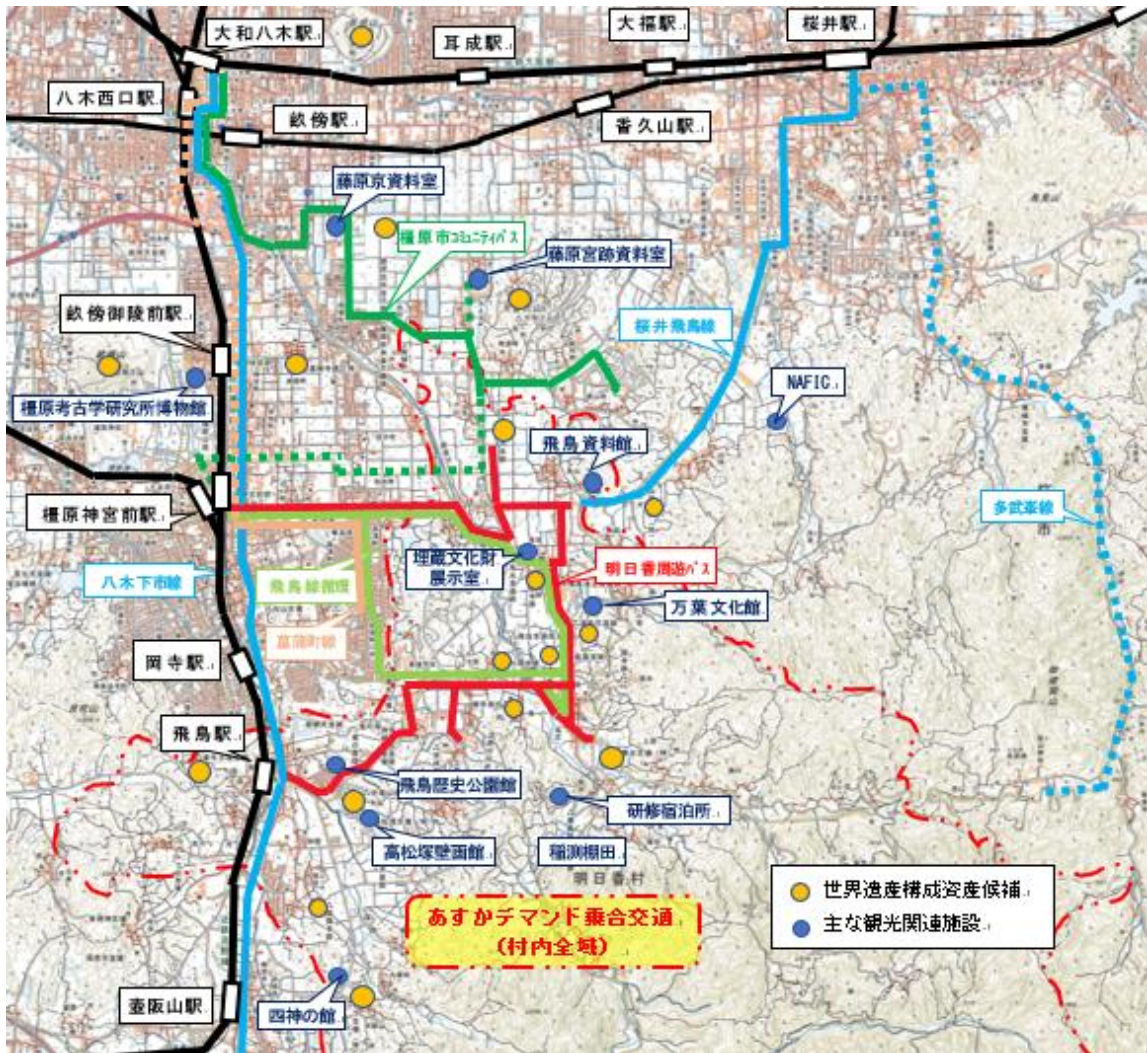
■ マイカーによる周遊が多いため、車の流入規制に繋がる移動手段の確保。

## 超高齢化社会に対応し、免許を持たなくても生活しやすい交通体系づくり

超高齢化社会の進展や免許を持たない方の増加などの社会情勢の変化に対応するため、通院や買い物など生活に必要な移動手段を確保するための交通体系づくりを行う

## 来訪者が豊かな自然環境の中で世界遺産構成資産を巡り文化観光を楽しむことができ、観光活性化に寄与することができる交通体系づくり

「飛鳥・藤原」世界遺産登録や大阪万博を見据えながら、新たな宿泊施設などと連携し、来訪者が飛鳥駅周辺（道の駅飛鳥及び高松塚古墳壁画保存公開施設予定）を拠点として飛鳥宮跡や牽牛子塚古墳などの世界遺産の構成資産候補や稲渕棚田などの文化資産、観光施設などへアクセスでき、文化観光を進めることを目的として観光振興に寄与できる交通体系づくりを行う



# 実証実験に向けて

## ○走行ルート

- ・飛鳥駅～高松塚～キトラ
- ・片道約4.0キロ 所要約15分

## ○道路の状況

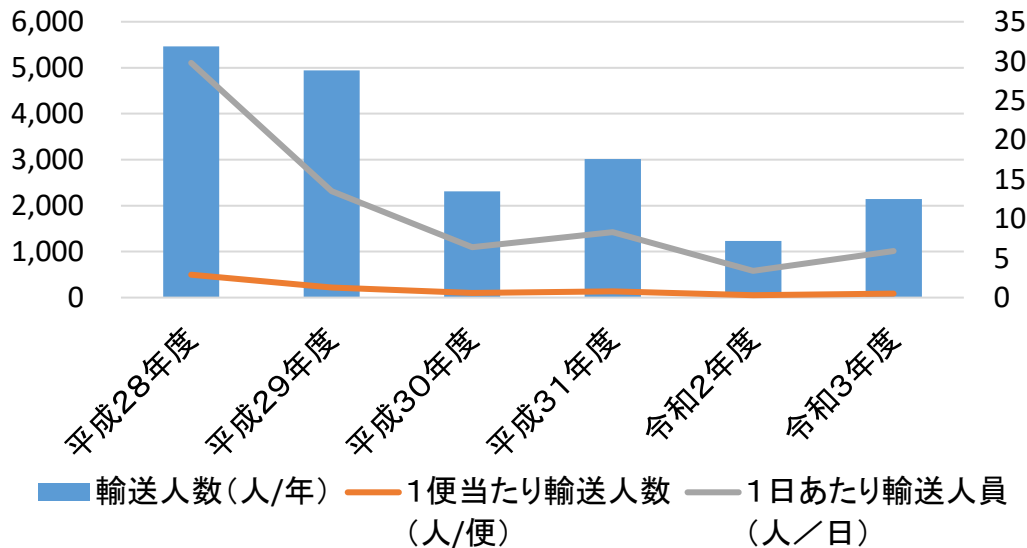
- ・都市計画道路（幅員9m～15m）
- ・飛鳥駅前に信号つき交差点
- ・飛鳥駅～高松塚間に信号無し交差点

## ○候補地域の公共交通の状況

- ・路線バスを運行。明日香デマンド乗合交通（実証実験）により休止。



飛鳥キトラ線 輸送人員



# 実証実験に向けて

## ○実証実験の時期

明日香村を含む2市1村で「飛鳥・藤原」世界遺産登録を目指しており、高松塚古墳及びキトラ古墳は、世界遺産構成資産候補となっている。文化庁により、国宝高松塚古墳壁画及び国宝キトラ古墳壁画の一般公開が四季毎に行われている。

観光閑散期である冬の公開期間、かつ、2つの壁画が同時公開される約1週間の期間に併せ、実証実験の時期を想定。

## ○運行車両

10名程度が乗車できる車両 1台

